

ソーシャル・ジャスティス基金



2013 年度助成先 発表フォーラム

ソーシャル・ジャスティス基金 (SJF) は、社会正義という視点から、「これからの希望ある未来を創っていく、多様な市民による社会提案活動」を、市民自身が応援することを目的に、認定 NPO 法人まちぼつとが 2011 年 11 月に設立した、日本初の、アドボカシー活動を対象とする市民ファンドです。

昨年度の助成の成果をふまえ、2013 年度の助成先として、「子ども・若者の貧困問題」「原発事故による被害者支援」「見逃されがちだが、大切な問題に対する取り組み」に関するアドボカシー活動をテーマに公募しました。社会提案活動や政策提言活動によって、社会課題の原因となる社会の仕組みを正す事業を、助成対象として選考しました。

ついではその発表フォーラムを、10 月 19 日に開催します。同時に、昨年度の助成団体の活動報告も行います。このフォーラムを通じて、市民自身で希望ある未来を創りあげていく、社会的な活動現場や仕組みについて、皆さまと対話し推進していきたいと考えています。ご参加を心よりお待ちしております。

■日 時： 10 月 19 日 (土) 14:00~16:30 (受付開始 13:45-)

終了後、自由参加の懇親会を開催します。

■場 所： 西武信用金庫 本店 会議室(中野区中野 2-29-10, JR 中野駅/徒歩 2 分)

■参加費： 無料

■登 壇：

2013 年度助成先 *助成内容の詳細は裏面ご参照

「なくそう!子どもの貧困」全国ネットワーク

NPO 法人 OurPlanetTV

公益社団法人 アムネスティ・インターナショナル日本

NPO 法人「環境・持続社会」研究センター (JACSES)

2012 年度助成先

NPO 法人 レインボープライド愛媛 (性的少数者の人権啓発や社会対話の促進)

NPO 法人 監獄人権センター (刑務所出所者の社会復帰を促進する為の政策提言)

「多様な学び保障法」を実現する会 (既存の学校外でも子どもが学べる為の立法活動)

上村英明 (SJF 運営委員長/ 恵泉女学園大学教授, 市民外交センター代表)

黒田かをり (SJF 副運営委員長/ CSO ネットワーク理事・事務局長)

轟木洋子 (SJF 副運営委員長/ 国際草の根交流センター事務局長)



■ご参加： 事前登録用ウェブサイト <https://socialjustice.jp/20131019.html>

■主催・お問い合わせ先：

認定 NPO 法人まちぼつと ソーシャル・ジャスティス基金 (事務局)

〒160-0021 新宿区歌舞伎町 2-19-13 ASK ビル 501

URL: <http://socialjustice.jp/>

メール: info@socialjustice.jp 電話: 03-5941-7948 FAX: 03-3200-9250

ソーシャル・ジャスティス基金 (SJF) 2013年度 助成先 決定団体

【助成対象】 「社会課題の原因を改善し新たな制度を提案するアドボカシー（社会提案）活動」

- (1) 社会の不正を正す目的をもった活動
- (2) 市民社会の形成に寄与する活動
- (3) 自発性にもとづき自主的に運用されている活動
- (4) 透明性のある情報開示をとまなう活動
- (5) 営利を目的としない活動

【助成期間】 2013年10月から2014年9月

【助成決定総額】 299万3千円

応募総数 39 団体の中から、最終的に以下の 4 団体に決定しました

団体名／助成事業名	助成金額	助成事業の概要
【公募テーマ 1】 「若者の貧困問題」 *テーマ 1 は株式会社日本財託様の指定寄付による公募です。		
「なくそう！子どもの貧困」 全国ネットワーク / 「生かそう！“子どもの貧困対策法”」 市民のちから事業	993,000	2013年6月に成立した「子どもの貧困対策推進法」を実行性ある法律とするため、市民や行政関係者の当課題への理解を促進し、法律の内容や先進事例の共有と施策の具体化を図り、市民の創意による提言づくりを行う。
【公募テーマ 2】 「原発事故による被害者支援」		
NPO 法人 OurPlanetTV / チェルノブイリ被災地の学校を中心に子どもたちの健康、生活状況の実態についてのドキュメンタリー制作	1,000,000	福島原発事故以降、政府が続けてきた避難政策、生活支援政策、健康調査政策を抜本的に転換させるため、チェルノブイリの低線量汚染地域の学校を取材し、制作ビデオをステイクホルダー、政府、自治体関係者などに配布し対話の糸口をつくる。
【公募テーマ 3】 「見逃されがちだが、大切な問題に対する取り組み」		
公益社団法人 アムネスティ・ インターナショナル日本 / 名張毒ぶどう酒事件・奥西勝死刑囚 と袴田事件・袴田巖死刑囚の再審開始 を通した死刑廃止の世論喚起事業	500,000	両死刑囚が受けた密室の取り調べや偽装が疑われる鑑定の問題点を周知させ、日本の刑事司法制度の見直しの大きなきっかけをつくるため、一刻も早い再審開始と釈放を勝ち取る緊急再審請求キャンペーンを行う。
NPO 法人「環境・持続社会」 研究センター (JACSES) / 原発輸出による社会的不正・途上 国市民の被害回避を実現する政策・体 制構築のためのアドボカシー活動	500,000	輸出国事業者が多大な利益を得る一方、「事故が起きた場合、立地地域に甚大な被害を押しつける」「廃棄の目途すら立っていない放射性廃棄物や核拡散による核戦争の脅威を将来世代に付与する」社会的不正を拡大する原発輸出を回避するため、関連政策への市民参加を確保する。